



申1号「ワンマン運転の拡大について」に関する説明申し入れ第2回交渉を行う!③

第11項 現行実施しているワンマン運転における課題と解消に向けた考えを明らかにすること。

- 車両搭載の機械自体のトラブルは対応できている。
- ワンマンミラーにツル草が絡んだり、塩害で汚れたりするものにも対応している。
- 乗降方法に慣れて頂いているが、トラブルがゼロにはならない。しかし、20分も30分もそれで止めた事は無い。**乗車方法が完全に浸透してはいない現実を会社は受けとめるべきだ!**
- **高額紙幣の対応は、現行通りで十分**と考えている。一般的にも高額紙幣に対応した自動販売機などは少ない。車両に搭載も可能だが、多額の現金を置くことでセキュリティの課題もある。
- **Suicaの展開は、通信のセキュリティ確保**も必要となる。**ご利用の多さで決まる。**費用対効果を含めて検討していく。

第12項 ワンマン運転に伴う、自然災害対応、防犯対応について、短・中編成が中心の線区、中・長編成が中心の線区ごとに明らかにすること。

- ハード対策、乗務員への訓練、新技術の導入、お客様への啓蒙などを行っていく。
- 中編成、長編成ごとに整備していく。
- **基本的な対応は、これまでのスキームと変わらない。**

【災害対策】

- 災害の内容と規模、状況で変わるため一概には言えない。基本的な考え方はこれまでと変わらない。隣接の駅からの応援や、乗り合わせた社員の協力を得ていくこともある。
- 迅速な避難が求められる場合もあり、**長編成では、客室内に避難用のはしごを準備する計画**である。
- 今後はワンマンとなることから、**乗務員も一人で対応することをベースにした訓練**等を行っていく必要がある。総合復旧訓練や、地域との関係も大切になる。
- 車両搭載品は、様々な目的の物を搭載している。搭載の目的と違ったとしても、必要な時に使うことは問題ない。
- 津波避難などは、線区によっては避難はしごを使わない方法も訓練している。
- 支社によっては、現場の人が自分たちで訓練メニューを考えている箇所もある。

【防犯対策】

- 防犯カメラや、非常通報装置の設置を行ってきている。防犯カメラは運転台も確認できる。
- 乗務員は、お客様を誘導することも大切である。凶器を持った相手に向かっていくことが正しいとは思わない
- 乗務員の安全を確保するための設備を、ワンマン実施で導入するという計画はないが、防犯対策は会社全体として取り組む必要がある。